

15 年間のステロイド使用と手指症状を経て指紋と爪が回復した成人アトピーの経過 (32 歳 女性)

症例 ID：001-30-NO | 記録日：不明

1. 診断・治療前経過

中学 1 年頃にアトピーを発症し、約 15 年間ステロイド外用を続けました。症状は手先から顔、頭、首、肘へ広がりました。手指は皮膚が薄く、亀裂と出血、腫れが続き、指紋が分かりにくく爪も変形していました。出産後の睡眠不足と生活変化により再び悪化しました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	中学期から手指、顔、頭、首、肘などにステロイド外用薬を使用しました。
製品名	不明です。
強度	強い外用薬を含みます。
使用期間	約 15 年間です。
中止時期	松本医院受診時です。
来院前／後	来院前に長期使用歴があります。来院後は使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
中学 1 年頃	発症・外用開始	手先の症状にステロイド外用を開始しました。
学生～社会人期	範囲拡大	顔、頭、首、肘へ症状が広がりました。
出産後	再燃	睡眠不足と生活変化の中で手指を中心に再び悪化しました。
松本医院受診	治療開始	煎じ薬などの治療を開始しました。
開始約 2 か月	リバウンド	一時的に症状が強くなりました。
開始約 4 か月	変化	首の黒ずみ、肘のかゆみ、手指の亀裂が軽減しました。
開始約 8 か月	経過後	指紋が再び見えるようになり、爪の凹凸も平らになりました。
その後	通院終了	症状が整い、通院しなくなりました。

4. ピーク時期

ピークは、長期使用中に手指の亀裂と出血、腫れが続き、指を曲げにくく水仕事が困難だった時期です。

5. 困りごと

- 手袋なしでは炊事ができず、育児中のおむつ交換にも痛みがありました。
- 夜間の強いかゆみでシーツが血で汚れることがありました。
- 手指の外見と機能の両面で長期の支障がありました。

6. 経過のまとめ

治療開始約 4 か月後から首、肘、手指の症状が軽減し、8 か月後には 10 年以上分かりにくかった指紋が見えるようになり、爪も平らになりました。その後は症状のために通院する必要がなくなりました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。